



第51回 関西学院史研究会

カナダ・ミッション 婦人宣教師の 視点から見た日加関係

本年は日加修好90周年にあたります。東洋英和女学校（現 東洋英和女学院）は、正式な日加国交が樹立されるはるか以前の1884（明治17）年にカナダ・メソジスト教会の婦人宣教師によって創設され、関西学院とも深いつながりがあります。今回は東洋英和の歴代の宣教師校長たちによって残された一冊のスクラップブックの紹介をもとに、1889年からスクラップブックの貼り込みが終わる1938年までをたどり、日加交流の一側面を再考していきます。

● 講 師 ●

松本 郁子 氏

東洋英和女学院史料室担当

東洋英和女学院中高部出身。早稲田大学第一文学部哲学科人文専修卒業。

東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻博士課程に在学中。

学院資料・村岡花子（『赤毛のアン』の翻訳者）文庫展示コーナーの企画・設営にも携わる。

2018.12.6（木）11:10～12:40

* 国際学部授業「カナダ社会論」（担当：大石太郎教授）と共同開催

大学図書館ホール

（西宮上ヶ原キャンパス）

無料・一般参加歓迎・申込不要

関西学院 大学博物館 学院史編纂室

0798-54-6022

共催：日本カナダ学会関西地区